

あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL&FAX 558-0718

住民の利益をまもり、
「住民こそ主人公」の
あきる野市政実現をめざして!

2007.8.12 No.468(毎月2回発行)

参院選

頑張った! あきる野の党と後援会

議席は増やせ なかつたが...

得票は大きく伸ばす

参議院選挙で、日本共産

党は議席では後退をしました。しかし比例区の得票数では、前回および前々回の得票を上回る四四〇万票(七・四八%)という地歩を維持することができました。選挙区でも東京、大阪、京都などで票を増やしました。

得票を増やした あきる野の党と 後援会

西多摩・青梅地区委員会
は、比例区の得票で前回選挙比で一四四六票増やし、得票率で〇・二八%伸ばしました。

あきる野市における選挙結果は、比例選挙で三年前の選挙より四二二票増やし、三四八六票を獲得しました。

選挙区では三年前の選挙より約一〇〇〇票増やし、約三六〇〇票を獲得しました。この票の伸び率は西多摩で最高で二三四%です。

支持拡大で 頑張った 活動家が続出

あきる野市の党と後援会
会員は街頭宣伝、ビラ配布



公約実現へ決意を述べる田村氏(左から3人目)と谷川氏(左端)=30日

支持拡大と諸活動で頑張りました。

特に支持拡大では草花のTさんのように電話工作で一〇〇〇件以上もかけきり、数百件の支持約束を得るなどの経験もできました。

多くの党員と後援会員が梅雨時の活動が困難な中、それぞれの能力を生かし頑張った選挙でした。

いずれにしても、今回の経験を生かして、次期選挙までに、日本共産党は後援会のみならずと力を合わせ、より以上に、質量共に大きくなり、議席も確実に増やせる党にならなければと決意しています。



参議院選挙戦の ご支援、ご声援に 感謝申し上げます。



「たしかに野党をスローガンに、憲法守れ、暮らしを守れの参院選を展開、党機関と共にあきる野市後援会も大奮闘しましたが、田村智子さんの当選を果たすことができませんでした。ズサンな年金管理や増税への怒り、戦争を導く憲法改悪反対の声など、市民の方から多くの声が寄せられました。これら一人一人の声を大切に受け止めると同時に「後援会ニユース」をお読み下さる市民の方々に感謝申し上げます。

民主政治を支えて下さる市民の方々の力の結果は、十月に行われる市長選に連結し、必ず最良の結果が生まれるものと思います。今後引き続きご支援ご声援を頂くことをお願い致します。

あきる野市日本共産党後援会
事務局長 木崎 秀治

なばらしこどもじらし

あーあ、やっちゃった。虫刺され・かぶれをかきこわしてとびひ。しかも3人とも。ひとりなら「かくからでしょ!」なのですが、3人そろってとなると、忙しくてかまっていなかったな...いらいらしてたかも...もっと気を付けていれば...などと反省。ともすると落ち込んでしまうのですが、済んだことを言っても始まらない。気がついたときから始めよう。

こどもたちの爪を切り、傷に薬を付け、ちょっと気を付けて見る、声をかけ、通りすぎりになる。まだまだ未熟な母は、こうやって対症療法しながら少しずつ成長している、のだと思うのですが。

(07.8.12)

たばた あずみ
連絡先は☎550-6674

天孫降臨から神々の活躍によって大和の国造へ、そして神武東征へと「古事記」を読むのが冒険小説より面白く、若い頃の愛読書の一つでした。これら神話や伝説は単なるフィクションでなく、語り継がれてきた物語の裏側に、未だ解明されていない隠された真実が潜んでいると思います。蒙古の騎馬民族の渡来が、今の天皇直系の原点という説など、調査と共に古代史学によって、少なからず解明されてゆくでしょう。◆大和民族は古代から神々を奉る土壌と風俗を培ってきました。特に稲作を中心とした豊饒への願いは、現代の祭りや神楽となっており、その型を伝えていきます。◆一部の軍国主義者たちが天皇を神として奉り、そのためには命を捧げることもいとわず、侵略のための戦争に走った現実を忘れてはなりません。早魃による飢饉に喘ぎ、ただ一心に神に救いを求めた古代の人々の神事と、天皇を帝道とした国家体制を憧憬する「美しい国」とは、全く別の世界であることはいまでもありま

せん。
(木崎)

野良望

「温泉問題を考える会」が参加を呼びかけ 監査結果 市民集会 開催 報告の

6月半ばにやつと監査委員による監査結果が送られてきました。
その内容は、監査の役割を果しているとはいいいがたいものですが、市政の問題点が浮き彫りになり、私たちが指摘した多くの点でこれを認めています(詳細は配布中のピラ)。
短時間で、5千8百余の署名活動を成功させた市民の熱い思いが、この結果を引き出しました。
市民の「税金の使い方を正せ」の声をうけて、当面迫っている市長選挙をチャンスとして闘いながら、今後市民とともに取り組むべき運動にはどんなものがあるのかを探っていきましょう。



時 8月18日(土)午後2時
所 中央公民館第6・7研修室

山柳二題 西川昇
大臣の 光熱水費 ウソ八百円
絆創膏 貼ってもボロは 隠せまい

「憲法まもれ」——新たな出発にむけて⑥

引田在住 佐々木健人

京都先斗町に轟いた

「聞け万国の労働者」

京都は戦前、染物工場の多い街だった。戦争が進むにつれ染物工場も軍需産業の下請けとなっていた。
A染物工場も、南京都にあった国際航空工業で造っていた五十人乗り大型グライダーの下請けで出稼した。
当時全国的に不足していた航空技術者で若い頃設計の名手宮原旭男爵の薫陶を受けたK君(指導を願ひし、在京の弟子数人を引きつれて設計技術部へ迎え入れられました)。

私も仲間の一人でフリーランスだった関係から、フリーパスで時々デイスカスに加わった。
K君の先輩に当たる技術者 国領さん、百瀬さんも東京から相談打ち合わせに来られた。
入ってくるなり図版の飛行機的设计図を見入る「お

や又人殺し道具ですか」と言われ、ときが経ってアメリやんたって人間でしょう」と言われ返答に「争行為の指摘に初めて目を開かれた。
社長としても東京からの大切なお客なので、歌にもある先斗町で宴席をもつた。宴そこそこに社長が帰っ

た後、解放されたメンバーから期せずして口をついて歌われたのは「聞け万国の労働者」だった。
中居さんや芸妓さんも共感と呼んで斉唱となったが、この時点では警察に漏らすものは居なかつたようだ。(続く)



歴史探訪

第48回

地名考・草花①



三角公園 (草花・花の岡)

友人や知人に「本当に草花という地名ですか」とよく云われます。それは草や花が咲き乱れる美しい土地を想像するからでしょうが、更には私が住む地域の小字は花の岡と云いますので、余程、花に縁のある土地なのかもしれません。しかし残念ながら、地名の由来としての「草花」は草や花には関係ないようです。これについては後述します。

普段、地域を車で往來していますので余り気付きませんが、草花は坂道が大変多い地域です。草花丘陵から平井川に至る広い地域を徒歩や自転車と廻ると北から南にかけて段丘的な傾斜となつて、その間の上り下りの坂道の多いのに気付きます。

草花は旧・秋川市では菅生と並んで広大な面積を持つている関係で、数多くの小字の地域があります。それらは現在、町内会の名やバス停の名として残っていますが、花の岡・高瀬・森山などの馴染みの深い小字に対し、下川原・橋場・江里・江里下谷津・花の戸・屋ヶ谷戸などは、日常、使われない小字、聞かれない小字と云えます。

草花は草花郷——草花村——上草花村と下草花村に分割され変つてゆきますが、その年代は一六八九年(元禄二)でした。(続く) 草花 木崎秀治

俳句

虹の橋渡ればはるか夢の国 (やす子)
戦場の子等の見てゐる虹の橋 (富子)
朝顔のつぼみを教へ鉢廻す (勝代)
絵子紙や白きうらわに野菜画き (静子)

下間に浦えゆく猫の尾の白き (照代)
長雨の後の夕空虹立ちぬ (ルリ子)
河童忌や糸一本の先の蜘蛛 (香治)

